

平素より、中国・四国支部に対しまして格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、全国上下水道コンサルタント協会中国・四国支部長に選任されました光井謙二と申します。平成 28 年から 6 年間の長期にわたり、ご尽力いただいた山地前支部長の後をお引き受けするに当たっては、いささか躊躇いたしました。が、会員の皆様そして役員の皆様のお力をお借りししながら支部運営に努めて参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

今年度も、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を受け、協会の活動が大きく制約を受けています。

上下水道コンサルタント業界においても、テレワークを実施したり、社内打合せや顧客との協議などで web を活用してミーティングを行ったり、様々な工夫をしながら対応し、感染予防と業務の効率化を図ってきました。

厚生労働省においては、改正水道法施行を契機に、水道事業の基盤強化が進められています。水道施設の維持管理及び計画的な更新、水道事業の健全な経営の確保、人材の確保及び育成等、基盤強化の施策がより一層進められています。そうした中、昨年 10 月には和歌山市において水管橋崩落という重大事故が起きたこともあり、老朽化対策や災害対策などの重要性が一層増大しています。

また、国土交通省においては、下水道事業の持続性の確保、浸水対策の強化、人口減少等を踏まえた経営改善などのほか、流域治水関連法として特定都市河川浸水被害対策法、河川法、下水道法などの水害対策関係法が改正され、より一層の防災・減災、国土強靱化が取り組まれています。また、脱炭素の取り組みや DX(デジタルトランスフォーメーション)などの新しい施策も進められています。

このように、上下水道の分野においては、引き続き、国、地方公共団体、民間企業等が連携しながら、様々な課題に取り組む必要があります。

当支部としましては、社会状況に的確に対応できるコンサルタント技術者の育成、また、次代を担う優れた人材の確保のため、コンサルタント地位向上に向けた活動が必要であると考えます。

今後も、関係各位の協会活動へのなお一層のご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

令和 4 年 6 月吉日

(公社) 全国上下水道コンサルタント協会

中国・四国支部長 光井 謙二